

【平成一九年度 学生支援に関わる相談担当者の研修会】開催のお知らせ

目的：東海地方の大学等における学生支援の現状と課題について、学生相談実務担当者間の情報交換と交流を深めること。

開催日時：平成二〇年一月三十一日

(木) 午後一時～午後五時

開催場所：日本福祉大学 名古屋キャンパス 北館八階
(名古屋市中区千代田五二二-三三五)

「地下鉄「鶴舞」駅二番出口 北へ徒歩約二分」または「JR中央線「鶴舞」駅 名大病院口 西へ徒歩約二分」

対象者：(一)学生相談実務担当者等(専任・兼任・非常勤)

(二)学生相談室の立ち上げ、充実に関心のある方等 五〇名程度

募集方法：一月一六日(水)まで



平成18年度 学生支援に関わる相談担当者の研修会

【平成一九年度 学生支援に関わる教職員 の研修会】の開催報告

に参加申込書(東海支部ホームページ掲載)をFaxにて送付願います。
申込用紙：http://www.jasso.go.jp/s_tokai/19/soudan_kensyu.htmlよりダウンロード
主催：独立行政法人 日本学生支援機構 東海支部、あいち学生支援コンソーシアム

本機構東海支部では、「学生の悩み相談事業」として、標記研修会を平成一九年一〇月三〇日(火)にウィルあいち(名古屋市中区)にて開催し、八五名が参加しました。

この研修会は、あいち学生支援コンソーシアムと連携協力し、岐阜、静岡、愛知及び三重県内の大学等教職員が、多様な学生への具体的対応方法について討議研修し、学生への支援体制について情報交換を行うことを目的に実施しました。はじめに、主催者である本機構東海支部 中村支部長及びコンソーシアム運営委員長 杉山寛行氏(名古屋大学理事)から、挨拶がありました。

研修会は、講演・情報交換会及び分科会で構成され、講演では、国際基督教大学カウンセリングセンター長 苦米地憲昭氏から、「『大学における学生相談体制の充実方策について』をめぐって」と題して講演がありました。

情報交換会では、「具体的な学生支援への取組」というテ

行政側と情報交換を行うことにより、留学生の就職の充実に資することを目的に実施しました。

はじめに、主催者である本機構東海支部 中村支部長及びコンソーシアム運営委員長 杉山寛行氏(名古屋大学理事)から、挨拶がありました。

ガイダンスは、講演、体験報告及びパネルディスカッションで構成され、最初に名古屋外国人ジョブセンターで、外国人労働者専門官として直接外国人の就職のサポートをされていた桂川浩己氏から、「外国人留学生の就職活動について」と題して講演がありました。

さらに、企業側の立場から、ブラザー工業(株)キャリア開発グループブマネージャーの加賀山茂氏から、「留学生に期待すること」と題し、元留学生の豊和繊維工業(株)人事部の張敬清氏から、「あなたはなぜ日本で働きますか?」と題し、(株)ニテック 人事部 部長の仲井通泰氏から、「グローバル化と企業風土」と題し、講演が行われました。

また、採用される側の留学生の立場として、二人の留学生の先輩から苦労話や後輩に役立つ話など織り交ぜて、就職活動の体験報告が行われました。

パネルディスカッションでは、桂川氏をコーディネーターに「留学生に対する日本企業の期待と問題点」というテーマで、講演・体験報告講師等全員による活発な意見交換・討議とともに、会場の留学生の熱心な質問と講師による丁寧な応答、説明が行われました。

【平成一九年度 外国人留学生に対する就職支援ガイダンス】の開催報告

本機構東海支部では、「留学生支援事業」として、標記ガイダンスを平成一九年一月一〇日(土)に名古屋大学IB電子情報館(名古屋千種区)にて開催し、一三〇名が参加しました。

このガイダンスは、あいち学生支援コンソーシアム及び愛知県と連携協力し、岐阜、静岡、愛知及び三重県内の大学等で学ぶ外国人留学生で卒業・修了後も日本に留まり、企業等に就職を希望する留学生の就職・採用活動について、企業側



マで、中部大学キャリアセンター課長 市原幸造氏、名古屋工業大学 学生部学務課主幹 森やよい氏から、地元で身近な話題提供があり、就職支援のあり方、ピアサポーターの活動等について、討論が行われました。

分科会においては、四つのグループに分かれ、①「学生対応に活かすカウンセリングの基礎」、②「各部署との連携」、③「対応に困った学生の事例」、④「危機介入・危機管理」のテーマで、活発な意見交換・討議がなされました。

◇平成一九年度第二回「全国就職指導ガイダンス」の開催報告

文部科学省と就職問題懇談会、本機構は一月二六日、神戸ポートピアホテル（神戸市中央区）で、平成一九年度第二回「全国就職指導ガイダンス」（後援：（社）日本経済団体連合会）を開催しました。

このガイダンスは、大学、短期大学、高等専門学校卒業予定者の就職・採用活動について、学校側、企業側の双方が一堂に会し情報交換を行うことにより、学生の就職機会の均等の確保と就職指導の充実に資することを目的に、平成七年度より年二回開催されているもので、今回、学校側からは三二五校、企業側からは三二五団体、計八一七名の参加がありました。



北原保雄日本学生支援機構理事長の開会挨拶の後、松浪健四郎文部科学副大臣から挨拶がありました。続いて、「学生の就職・採用活動について」と題し、就職問題懇談会の武藤元昭青山学院大学長と、紀陸孝日本経団連専務理事より講演があり、その後、久保田祥二関西学院大学キャリアセンター長から「社会と結ぶライフデザイン・プログラム」と題して、また川口佳子（株）ベネッセコーポレーション人財部採用・グループ人事課長から「ベネッセコーポレーションの人事ポリシー」と、人事戦略、業務におけるその実践について」と題して、事例紹介がありました。

引き続き行われた情報交換会は、各企業毎に担当者が着座したブースを業種別に設定し、学校側の担当者が任意に訪問する形式で開催され、学校側と企業側の担当者が熱心に話す姿が見受けられるなど、活発な情報交換が行われました。

